

# 北海道の道路史、インフラ整備のあり方

背景資料：1854年 蝦夷闊境輿地全図（エゾ コウキョウヨチ センズ）／所蔵：北海道立図書館

日時

令和8年5月18日 月 12:55～16:05  
2026年

開催場所

Web Zoom (WEB 会議アプリ) にて全国域配信予定

申込方法

弊社ホームページの受付フォームからお申し込みください

ZOOM  
Web セミナー  
受講無料  
定員 1000名

## 講演会次第

開会挨拶	12:55～13:00	一般社団法人 建設イノベーション推進機構 代表理事 山口 篤志
第Ⅰ部	「北海道の道路史」～地理情報システムで辿る北海道の道路史～	
講演・1 終了後質疑応答 10分	13:00～14:30	「地理情報システムでみる北海道道路史物語」 ～江戸時代の交通ネットワーク形成過程を中心に～ ツールド・北海道協会常務理事、元北海道大学公共政策大学院特任教授、同客員教授 元 国土交通省 北海道局長 講師：高松 泰
	14:40～14:50	休憩
第Ⅱ部	「住み続けられる国土と北海道のインフラ整備のあり方（Ⅱ）」	
講演・1 終了後質疑応答 10分	14:50～15:50	「これからのインフラ整備のあり方」 ～道路整備を対象として～ 室蘭工業大学名誉教授、国土交通省社会資本整備審議会道路審議会道路分科会委員、 北海道防災会議専門委員会委員 講師：田村 亨
閉会挨拶	16:00～16:05	一般社団法人 建設イノベーション推進機構 最高顧問 金澤 義輝

主催：一般社団法人 建設イノベーション推進機構  
共催：公益社団法人 土木学会 土木史委員会 / 北海道産業考古学会  
後援：北海道開発局、北海道、札幌市、北海道開発技術センター、北海道道路管理技術センター、  
北海道河川財団、石狩川振興財団、北海道建設業協会、北海道建設技術センター、  
建設コンサルタンツ協会北海道支部、日本技術士会北海道本部、北海道測量設計業協会、  
北海道新聞社、北海道建設新聞社、北海道通信社（順不同）  
協賛：岩田地崎建設(株)、伊藤組土建(株)、(株)草別組  
(株)ドーコン、(株)構研エンジニアリング、(株)開発調査研究所、(株)シン技術コンサル、  
日本データサービス(株)、北海道土木設計(株)、アースコンサルタント(株)、新和測量(株)  
(株)アイ・ティ・エス

お申込みはこちらから

IPAC 一般社団法人 建設イノベーション推進機構  
<https://www.ipac.or.jp/event20260518/>



# 北海道の道路史、インフラ整備のあり方

## 講演会の主旨・概要

明治期北海道は、水辺や原野に居住地を拓き、海・川・道（みち）を通じて結び合い、社会を築いてきました。今ある社会はその時々々の生活に必要な社会資本を受け継ぎ、その上に新たな創意工夫を重ねてきた時間の集積です。古い有形・無形の資本の多くも今に生き、さらに新たな創意工夫を重ねて、歴史的諸相を重層する社会を築き、未来への歩みを踏み出しています。

本講演では、北海道開発に視点をおき、交通インフラの歴史的諸相を地理情報システムの手法で紐解き、「今」に至る北海道の交通インフラの歴史的変容と背景を理解する契機とします。また、こうして育んだ多様な地域社会資本を「未来」に受継ぎ、発展的変容を遂げるために、「道（みち）」の整備に必要な「新たな創意工夫」のあり様を、考える機会にしたいと思います。

### 第Ⅰ部「北海道の道路史」～地理情報システムで辿る 北海道の道路史～

#### 講演 1 : 「地理情報システムでみる北海道道路史物語」

～江戸時代の交通ネットワーク形成過程を中心に～

上野正人氏著『昭和までの北海道道路史物語』は、北海道道路史を通史として体系的に描いた貴重な著作である。同書をもとに、地理情報システムを利用して地形モデルを作成して可視化を試みた。さらに、江戸期古地図をもとに、運上屋・会所などの当時の拠点と陸路・海路・水路を重ねた拠点連絡モデル（ネットワークモデル）を試作した。北海道の交通ネットワーク形成について、同書からエピソードを紹介し、特に黎明期の交通ネットワーク形成過程について考察する。



講師：高松 泰

### 第Ⅱ部「住み続けられる国土と北海道のインフラ整備のあり方（Ⅱ）」

#### 講演 2 : 「これからのインフラ整備のあり方」

～道路整備を対象として～

コロナ禍以降の世界は、大きく時代が動き人々の価値観が変わってきている。わが国のインフラ整備でもマネジメントの重要性が切迫感をもって議論されている。我々は目の前の問題解決に追われ、長期的視点を忘れていないか。インフラに対する国民ニーズは、わが国の国土や地域が本来有してきた風土、伝統、文化から生成される良さ、美しさを取り戻すことを求めている。北海道の人口が疎な生産空間においては、誇りと希望が持てる未来へのインフラビジョンとその実施が切望されている。



講師：田村 亨

※講師プロフィール詳細は、IPAC ホームページ「講師のご紹介」よりダウンロード下さい

### 参加お申し込み方法

以下の URL にアクセスして、専用の申込フォームよりお申し込みください。

お申し込み期限は 5 月 15 日金曜日までとさせていただきます。

<https://www.ipac.or.jp/event20260518/>

お問合せは Mail にて承ります Mail : ipac@it-systems.co.jp

